

都市医師会長プロフィール

空知南部医師会

梶 良行先生



空知南部医師会の新会長に、前副会長の梶先生が第5代目会長に選任されました。本年3月の定時総会で当医師会を構成する栗沢、栗山、長沼、南幌、由仁の各地区代表委員による選考委員会において、前長岡会長（77歳）から梶会長（53歳）へと大幅な若返りによる医師会の活性化を期待されての推挙です。

先生は昭和49年に東京医科大学医学部を卒業し北海道大学医学部整形外科学教室に入局されました。昭和56年に梶整形外科医院副院長として着任され、63年に同院の法人化とともに院長となり地域医療に尽力されています。

先生は整形外科医としての日常診療の他に、産業医をはじめ各種の健診業務や学校医などの医療面だけではなく、栗山剣道連盟会長として少年剣道や演劇の指導という文化面を通して、地域の発展向上に積極的に参加されています。

医師会長としての抱負をお尋ねしたところ、次

のように述べられました。

「医療業界を取り巻く山積みされた難問題を前にすると、医師会会長としての責任の大きさに、ただただ困惑するばかりである。診療報酬のマイナス改訂、医療特区構想による株式会社参入の問題、整形外科においては理学療法通減制の導入等々、良質な医療を提供しようとしても、医業収入が削られるため資金繰りは困難を極め、優秀なスタッフや新しい診断機器、治療機器を揃えることすら困難になっている。しかし、地域には、このような状況とは全く関係なく病める人々は存在し、医療の援助を切望しているのである。このような状況下で、私ども医師会員はお互いに連携を密にし、より質の高い医療を地域住民に提供すべく努力しなければならないと考える。」

空知南部医師会との関連では、平成13年前会長の就任と共に副会長となられ医師会運営に会長の右腕となって活躍されました。温和で気さくなお人柄ですが、曲がったことは嫌いという正義感が強く、人情に厚いという親分肌の頼もしさを感じる新会長です。その豊かな人間性で幅広い年齢層の会員をまとめあげ、今後の空知南部医師会を牽引していただけると期待しています。

（空知南部医師会 理事 得地 茂）